

『糖尿病診療ガイドライン 2024』の策定にあたって

1. 本ガイドライン策定の目的

「糖尿病診療ガイドライン」は、エビデンスに基づく合理的かつ効率的で均質な糖尿病診療の推進を目的として2004年に初版を発行し、3年ごとに発行していた。本書からは新しいエビデンス集積までの期間や他領域などの状況を考慮して、5年ごとの発刊となった。本書は第7版に相当するものである。糖尿病とその合併症に関する診療に関しては、新規作用機序の糖尿病治療薬や肥満症治療薬の承認、これらを用いた臨床試験の成果が次々と報告され、CGM (continuous glucose monitoring) やSAP (sensor-augmented pump) といった新たな診療機器の開発も進み、近年飛躍的な進歩を遂げている。また、J-DOIT 1~3 やJDCP study など、わが国からの大規模臨床試験や大規模前向き観察研究の成果がサブ解析も含めて報告された。電子カルテに記載された診療録から直接データ収集した全国規模の大規模糖尿病患者データベースの構築も進んでいる。加えて、この5年間に、脂質管理や血圧管理に関して日本動脈硬化学会や日本高血圧学会から新しいガイドラインが発表されている。本ガイドラインはこれらの診療の進歩、新知見の集積、新規エビデンスを盛り込むことを目的に策定した。本ガイドラインの章立ては、2019年版と同じとし、同様にCQ (Clinical Question)・Q (Question) 方式を継続した。ただし、各CQ・Qごとに細かくその文言を吟味し、必要に応じて見直しや追加のCQ・Qを設定した。これは、糖尿病の臨床現場における活用をより意識したものである。なお、本ガイドラインにおける策定過程などに関しては「診療ガイドライン策定の方法論」に詳述されているので、同章をお読みいただいたうえで、本ガイドラインを利用いただきたい。本ガイドラインがわが国の糖尿病診療におけるEBM (Evidence-based Medicine) の実践のための指針となり、糖尿病患者の健康寿命の延伸・QOL (quality of life) の向上に寄与するものとなることを期待する。

2. 本ガイドラインの対象

- 1) 利用対象：下記診療に従事する一般臨床医(糖尿病専門医を含む)
- 2) 診療対象：糖尿病およびその合併症

3. 本ガイドライン策定の手順

(1) 策定の基準

各項目とも「CQあるいはQ」を冒頭に示し、それに対する「ステートメント (CQ)」、「ポイント (Q)」、「解説」、「引用文献」、「参考とした資料」を記載するフォーマットとした。

「CQ」は推奨度 (推奨グレード) を問う疑問として回答が可能な臨床的疑問、「Q」は「CQ」以外の臨床的疑問 (推奨グレードは付さない)、として区別した。CQに対するステートメントでは、「推奨グレード」とその推奨グレードに対する策定委員会における「合意率」を記載した。「推奨グレード」は、「グレードA (強い推奨)」、「グレードB (弱い推奨)」に加えて、今回、現在までのエビデンスでは「行うこと」も「行わないこと」も推奨するまでにはいたらない場合、「グレードU (推奨度決定不能)」を設定し、3段階とした。合意率は策定委員会による投票に

よって決定し、70%以上の合意をもって採択した。「引用文献」の各文献にはそのエビデンスレベルを記載した。エビデンスレベルを伴わないものは「参考とした資料」として引用文献とは区別した。またステートメントに引用されている文献については、「論文コード(研究デザイン・エビデンスレベルも併記)」、「対象」、「方法」、「結果」を記載した「アブストラクトテーブル」を策定し、章ごとに掲載した。本書からはアブストラクトテーブルは、書籍掲載するものは原則として代表的なものを5つまでとし、それ以外についてはweb [http://www.jds.or.jp/modules/publication/index.php?content_id=4]に掲載することとした。なお、「推奨グレード」、「エビデンスレベル」の基準、「研究デザイン」の種類などに関しては「診療ガイドライン策定の方法論」の章に詳述しているので参照していただきたい。

(2)委員会構成

本ガイドラインの策定においては、「統括委員会」、「策定委員会」、「評価委員会」、「システマティックレビュー(SR)サポートチーム」、「リエゾン委員会」、「外部評価委員会」、「有識者委員会」を組織し、それぞれ以下の役割を担った。統括委員はその他の委員を兼務している場合もあるが、策定委員と評価委員の兼務は不可とし、内容評価の独立性を担保した。

- 統括委員会：日本糖尿病学会内の各種関連委員会の委員長ならびに本ガイドラインの策定委員会・評価委員会・SRサポートチームの委員長を主として組織し、本ガイドラインにおける基本方針の決定、全体的な内容調整を行った。
- 策定委員会：糖尿病およびその合併症、関連疾患の医療・医学の専門家により組織し、CQ・Qの策定およびCQ・Qに基づく系統的文献検索・SR、ステートメント・解説・アブストラクトテーブルの策定を行った。また、CQにおけるすべてのステートメントの内容・推奨グレードの妥当性について投票を行って決定した。
- 評価委員会：糖尿病およびその合併症、関連疾患の医療・医学の専門家により組織し、CQ・Q・ステートメント・解説・アブストラクトテーブルの記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性、整合性などについて評価を行った。
- SRサポートチーム：糖尿病およびその合併症、関連疾患の医療・医学の専門家ならびに医療統計・疫学の専門家により組織し、文献検索・SRのサポート、採用エビデンスのレベル確認などを行った。
- リエゾン委員会：関連する各学会から推薦された医療・医学の専門家により組織し、関連各学会が専門とする分野・領域について、本ガイドラインにおける記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性などについて評価を行った。
- 外部評価委員：日本糖尿病協会により推薦された委員により組織し、本ガイドラインにおける記載内容ならびに採用エビデンスの最新性、正確性、妥当性などについて評価を行った。
- 有識者委員：糖尿病に関する各種団体の代表者を中心として組織し、本ガイドライン全体について医療情勢なども鑑みた俯瞰的立場から内容評価を行った。有識者委員は評価の独立性を担保するために他の委員との兼務は不可とした。

(3)策定の作業

本ガイドラインの策定経過について以下にまとめる。なお、エビデンスとなる論文は、下記の種々の段階で新しい論文に更新し、その都度SRを行った。また、各段階において全体の基本方針にかかわる事項あるいは内容の整合性などに関して、策定委員長・策定委員長補佐と評価委員長・評価委員長補佐、SRサポートチーム委員長による検討会議を適宜実施して調

整を図った。

- ①2021年4月11日：第1回統括委員会開催(基本方針，組織構成，本の規模，CQ・Qについて，用語の統一などについて決定)
- ②2021年8月19日：第1回策定委員会開催(策定方法，組織構成・役割，本の規模，CQ・Qについて，用語の統一などについて決定)，Mindsによる診療ガイドライン評価，システマティック・レビューの方法，糖尿病診療ガイドライン 2024の策定方法についてのレクチャー実施
- ③2021年9～10月：CQ・Qの検討(策定委員会)
- ④2021年11月～2022年1月：CQ・Qの評価(評価委員会)
- ⑤2022年2～3月：CQ・Qの再検討(策定委員会)
- ⑥2022年4～5月：上記評価後のCQ・Qの再評価(策定委員会)
- ⑦2022年6月～2022年10月：文献検索・収集・評価，アブストラクトテーブル作成，エビデンスレベル付記〔一次原稿〕(策定委員会)
- ⑧2022年11～2023年2月：〔一次原稿〕の評価(評価委員会)
- ⑨2023年6月：上記評価後の原稿修正〔二次原稿〕(策定委員会)
- ⑩2023年7月29日：第2回策定委員会(ステートメント・解説の確認，推奨グレードの投票)
- ⑪2023年8月：上記委員会後の原稿修正〔三次原稿〕(策定委員会)
- ⑫2023年9月：〔三次原稿〕の再評価(コアメンバー)
- ⑬2023年10月：上記評価後の原稿修正〔四次原稿〕(策定委員会)
- ⑭2023年11月：〔四次原稿〕の全体評価(統括委員会・策定委員会・評価委員会・有識者委員)
- ⑮2023年12月：全体評価後の原稿修正〔五次原稿〕(策定委員会)
- ⑯2024年1月：〔五次原稿〕によるパブリックコメント募集，リエゾン委員・外部評価委員による評価
- ⑰2024年2月：パブリックコメント，リエゾン委員・外部評価委員による評価後の原稿修正〔六次原稿=最終原稿〕(策定委員会)
- ⑱2024年3～4月：統括委員会・策定委員会・有識者委員・学会理事による校正刷りの校閲
- ⑲2024年5月：発行

(4) 今後の発行予定

本ガイドラインは2004年の初版発行以降2019年版までは3年ごとに発行していたが，2024年版は2019年版の5年後の発行となった。今後は5年ごとの定期的な発行を予定している。

4. 本ガイドラインの使用法

本ガイドラインは臨床医が適切かつ妥当な診療を行うための臨床的判断を支援する目的で，現時点における医学的知見に基づいて策定されたものである。個々の患者の診療は，その患者のすべての臨床データをもとに主治医によって個別に決定がなされるべきものである。したがって，本ガイドラインは医師の裁量を拘束するものではない。また，本ガイドラインは，すべての患者に適用されるものではなく，患者の状態を正確に把握したうえで，それぞれの診療の現場で参考とされるために策定されたものである。

日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン 2024」統括委員会・策定委員会・評価委員会は、本ガイドラインの記載内容については責任を負うが、個々の診療行為についての責任を負わない。また、本ガイドラインの内容は医療訴訟対策などの資料となるものではない。

5. 本ガイドラインの策定費用

本ガイドラインの策定はすべて日本糖尿病学会が費用を負担したが、この支援による診療ガイドライン作成への影響はない。

6. 利益相反(COI)について

1) 本ガイドラインでは、策定・評価にかかわった各委員(統括委員、策定委員および策定委員協力者、評価委員、SR サポートチーム、リエゾン委員、有識者委員)と糖尿病および関連疾患に関与する企業との間のCOIにつき、各委員から申告を得て問題となる可能性がある場合、執筆や投票への関与を制限した。推奨グレードの決定においてはCQごとに確認を行い、COI状態にある策定委員を除き投票を行った(下表)。

2) 関連学会からのリエゾン委員や日本糖尿病協会からの外部評価委員の参加によって意見

策定参加者の議決権に関する基準額

診療ガイドライン策定参加者の個人COI			
講演料	パンフレット など執筆料	受け入れ 研究費	奨学(奨励) 寄附金
200万円	200万円	2,000万円	1,000万円

基準額は1社あたりの金額

の偏りを防ぎ、公平性を担保するように努めた。さらに出版前のパブリックコメントを名誉会員・功労学術評議員・学術評議員、有識者委員より受け付けることにより幅広い意見を収集した。

7. ガイドライン普及と活用促進について

書籍として出版するとともに、日本糖尿病学会ホームページにおいても公開を行う予定である。

2024年5月

「糖尿病診療ガイドライン 2024」策定に関する委員会

利益相反 (COI) の開示

日本糖尿病学会「糖尿病診療ガイドライン 2024」策定に関する委員会では、統括委員会・策定委員会・評価委員会・策定委員会 協力者・SR 担当者・SR サポートチーム・有識者委員・リエゾン委員・外部評価委員と糖尿病および関連疾患に関する企業との間の経済的関係につき、以下の基準で統括委員会・策定委員会・評価委員会・策定委員会 協力者・SR 担当者・SR サポートチーム・有識者委員・リエゾン委員・外部評価委員より過去 3 年間の利益相反状況の申告を得た。

<利益相反開示項目> 該当する場合は具体的な企業名 (団体名) を記載。該当しない場合は「-」を記載する。

A. 申告者の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1 つの企業・団体からの報酬額が年間 100 万円以上)
2. 株の保有と、その株式から得られる利益 (1 つの企業の年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5% 以上を保有する場合)
3. 企業や営利を目的とした団体から支払われた特許権使用料 (1 つの特許権使用料が年間 100 万円以上)
4. 企業や営利を目的とした団体から会議の出席 (発表、助言など) に対し、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料など (1 つの企業・団体からの年間の講演料が合計 50 万円以上)
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料 (1 つの企業・団体からの年間の原稿料が合計 50 万円以上)
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 (1 つの企業・団体から医学系研究 (共同研究、受託研究、治験など) に対して申告者が実質的に使途を決定し得る研究契約金の総額が年間 100 万円以上)
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学 (奨励) 寄附金 (1 つの企業・団体から申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間 100 万円以上)
8. 企業などが提供する寄附講座に申告者らが所属している場合
9. 研究とは直接に関係しない旅行、贈答品などの提供 (1 つの企業・団体から受けた報酬総額が年間 5 万円以上)

B. 申告者の配偶者、一親等内の親族、または収入・財産を共有する者の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職の有無と報酬額 (1 つの企業・団体からの報酬額が年間 100 万円以上)
2. 株の保有と、その株式から得られる利益 (1 つの企業の年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5% 以上を有する場合)
3. 企業や営利を目的とした団体から支払われた特許権使用料 (1 つの特許権使用料が年間 100 万円以上)

C. 申告者の所属する研究機関・部門の長にかかる institutional COI 開示事項

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費 (1 つの企業・団体からの研究費が年間 1000 万円以上)
2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金 (1 つの企業・団体からの寄附金が年間 200 万円以上)
3. その他 (株式保有、特許使用料、あるいは投資など)

統括委員会・策定委員会・評価委員会・策定委員会 協力者・SR 担当者・SR サポートチーム・有識者委員・リエゾン委員・外部評価委員はすべて「糖尿病診療ガイドライン 2024」の内容に関して、糖尿病および関連疾患の医療・医学の専門家あるいは専門医として、科学のおよび医学的公正さと妥当性を担保し、対象となる疾患の診療レベルの向上、対象患者の健康寿命の延伸・QOL の向上を旨として編集作業を行った。利益相反の扱いに関しては、内科系関連学会の「医学系研究の利益相反 (COI) に関する共通指針」に従った。

申告された企業名は以下の通りである。

対象期間は 2021 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日。

法人名は省略。企業名は 2023 年 12 月時点の名称とし、開示期間内に社名変更があった企業は旧社名を括弧内に記載。(50 音順)

[統] 統括委員会, [策] 策定委員会, [評] 評価委員会, [協] 策定委員会 協力者, [S 担] SR 担当者, [S サポ] SR サポートチーム, [有] 有識者委員, [リエ] リエゾン委員, [外部] 外部評価委員

利益相反項目の開示

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
浅原哲子 [評]	—	—	—	—	—	Seaknit (恩尼特生物 物科技有限公司)	—	Seaknit (恩 尼特生物科技 有限公司)
阿部雅紀 [リエ]	—	—	—	アステラス製薬, アストラ ゼネカ, 小野薬品工業, キッ セイ薬品工業, 協和キリン, 住友ファーマ (大日本住友 製薬), 第一三共, 田辺三菱 製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲル ハイム, バイエル薬品	—	SBI ファーマ	大塚製薬, 協和キ リン, 日本ベー リンガーインゲルハ イム	大塚製薬, テ ルモ, 日機装, ニプロ
荒木 厚 [評]	—	—	—	小野薬品工業, 住友ファ ーマ (大日本住友製薬), ノボ ノルディスクファーマ	—	—	—	—
荒木栄一 [策]	—	—	—	MSD, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), ノボノ ルディスクファーマ	—	—	住友ファーマ (大 日本住友製薬), 田 辺三菱製薬, ノ ボノルディスク ファーマ, ロシュ・ ダイアグノス ティックス	小野薬品工 業, テルモ
池上博司 [評]	—	—	—	サノフィ, 住友ファーマ (大 日本住友製薬), ノボノル ディスクファーマ	—	—	Life Scan Japan, 住友ファーマ (大 日本住友製薬)	—
池嶋健一 [リエ]	—	—	—	—	—	—	EA ファーマ, アッ ヴィ, 住友ファ ーマ (大日本住友製 薬), 大塚製薬	—
池田香織 [S担]	—	—	—	—	—	asken, Drawbridge, Inc., UHA 味覚糖	—	—
石垣 泰 [評] [リエ]	—	—	—	小野薬品工業, 興和, サノ フィ, 住友ファーマ (大日 本住友製薬), 日本イーライ リリー, ノボノルディス クファーマ, バイエル薬品	—	第一三共, ノボノ ルディスクファ ーマ	小野薬品工業, サ ノフィ, ノボノル ディスクファーマ	—
石橋 俊 [評]	—	—	—	—	—	—	興和	—
石原寿光 [評]	—	—	—	Life Scan Japan, 日本イー ライリリー, 日本ベーリン ガーインゲルハイム	—	—	Boehringer Ingelheim Pharma GmbH & Co KG, Life Scan Japan, 第一三共 生命科学振興財団, 田辺三菱製薬, 日 本イーライリリー, 日本ベーリンガー インゲルハイム	—
井出真太郎 [S担]	—	—	—	—	—	MSD 生命化学財団	—	—

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
稲垣暢也 [策]	—	—	—	協和キリン, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	—	asken, Drawbridge, Inc., テルモ	MSD, Life Scan Japan, 小野薬品工業, 協和キリン, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
今川彰久 [統] [評]	—	—	—	—	—	MSD, 小野薬品工業, パレクセル・インターナショナル, プリストル・マイヤーズスウィブ	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
植木浩二郎 [評]	—	—	—	アストラゼネカ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	—	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム, メビックス	日本糖尿病財団, 日本ベーリンガーインゲルハイム	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
内田治仁 [S 担]	—	—	—	アストラゼネカ, 大塚製薬, 協和キリン, 持田製薬	—	—	—	オルパヘルスケアホールディングス, 中外製薬, テルモ, 日本ベーリンガーインゲルハイム
	—	—	—	—	—	—	—	—
浦上達彦 [評]	—	—	—	DEXCOM, JCR ファーマ, アボットジャパン, テルモ, ノボノルディスクファーマ	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
繪本正憲 [統] [策]	—	—	—	アストラゼネカ, 小野薬品工業, 協和キリン, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	—	協和キリン, 田辺三菱製薬	イーザイ, 協和キリン, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 中外製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, バイエル薬品	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
大澤春彦 [評]	—	—	—	—	—	シスメックス	第一三共, ノボノルディスクファーマ	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
大杉 満 [策]	—	—	—	アボットジャパン, 田辺三菱製薬, ノボノルディスクファーマ	—	MSD, アステラス製薬, アボットジャパン, 協和キリン, サノフィ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	住友ファーマ (大日本住友製薬)	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
大西浩文 [S 担]	日立製作所	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
岡田洋右 [策]	—	—	—	MSD, 興和, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
加来浩平 【有】	-	-	-	アステラス製薬, 興和, 三和化学研究所, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	-	大塚製薬, 大正製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
片桐秀樹 【評】	-	-	-	-	-	村田製作所	住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
門脇 孝 【有】	-	-	-	MSD, アボットジャパン, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
金藤秀明 【統】 【策】	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー	-	-	アボットメディカルジャパン, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
神谷英紀 【策】	-	-	-	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 興和, サノフィ, 三和化学研究所, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ	-	CBC, 小野薬品工業, 興和, パレクセル・インターナショナル, フクダ電子	住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 武田薬品工業, ノボノルディスクファーマ	-
川浪大治 【評】	-	-	-	サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 田辺三菱製薬, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), ニプロ, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
河盛隆造 【有】	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
菊池 透 【策】	-	-	-	ノボノルディスクファーマ	エム ティー アイ	-	-	-
北田宗弘 【協】	-	-	-	-	-	アストラゼネカ, 大正製薬	メディカルライズ協会	小野薬品工業, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム
北村忠弘 【評】	-	-	-	アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム	-

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
木村友彦 [S担]	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬)	-	-	-	-
久米真司 [策]	-	-	-	-	-	日本ベーリンガーインゲルハイム	MSD, 協和キリン, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, ニプロ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
越坂理也 [S担]	-	-	-	-	-	大正製薬	アステラス製薬	-
駒津光久 [評]	-	-	-	MSD, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-	ノボノルディスクファーマ	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-
斎藤重幸 [評]	-	-	-	ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
佐野元昭 [リエ]	-	-	-	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, 興和, 第一三共, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, 持田製薬	-	-	-	-
塩島一朗 [評]	-	-	-	-	-	-	アボットジャパン, 大塚製薬, 興和, テルモ, 鳥居薬品, バイエル薬品, 富士フィルム	-
四方賢一 [策]	-	-	-	アストラゼネカ, 小野薬品, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, バイエル薬品	-	田辺三菱製薬	-	-
島田 朗 [策]	-	-	-	アボットジャパン, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), テルモ, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
島野 仁 [評]	-	-	-	興和	-	興和	Life Scan Japan, 田辺三菱製薬	-
島袋充生 [評]	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-	-	-

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
下村伊一郎 [策]	-	-	-	小野薬品工業, 興和, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-	キャンサースキャン, 興和, 小林製薬, 日清食品, 日本医療研究開発機構, ロート製薬	一般財団法人みどり健康管理センター, 医療法人協和会, 医療法人伯鳳会大阪中央病院, 医療法人伯鳳会はくほう会セントラル病院, 鈴木謙三記念医科学応用研究財団, 鈴木万平糖尿病財団, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 第一三共, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 持田製薬	-
榎本昌彦 [リ工]	-	-	-	参天製薬, ジョンソン・エンド・ジョンソン, 中外製薬, ノバルティスファーマ, バイエル薬品, わかもと製薬	-	AMO, 参天製薬, 中外製薬, ノバルティスファーマ, バイエル薬品	-	-
鈴木 亮 [評]	-	-	-	MSD, アステラス製薬, 小野薬品工業, 興和, サノフィ, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 第一三共, 田辺三菱製薬, 帝人ヘルスケア, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	住友ファーマ(大日本住友製薬)	Life Scan Japan, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
清野 裕 [有]	-	-	-	小野薬品工業, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 日本ベクトン・ディッキンソン, ノボノルディスクファーマ	-	-	アークレイ, アークレイマーケティング, 小野薬品工業, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 大正製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-
曾根博仁 [策]	-	-	-	-	-	アステラス製薬, ノボノルディスクファーマ	アステラス製薬, エーザイ, 小野薬品工業, 協和キリン, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 大正製薬, 武田薬品工業, ノボノルディスクファーマ, ヘルスビット	-
大門 眞 [評]	-	-	-	Alnylam, サノフィ, 住友ファーマ(大日本住友製薬)	-	-	田辺三菱製薬	-
竹内靖博 [評]	-	-	-	アムジェン, 協和キリン, 第一三共, 中外製薬, 帝人ヘルスケア	-	-	中外製薬	-
竹本 稔 [評]	-	-	-	小野薬品工業, 住友ファーマ(大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	-	-	-	-
田中敦史 [協]	-	-	-	日本ベーリンガーインゲルハイム, 持田製薬	-	グラクソスミスクライン, 武田科学振興財団, プリストル・マイヤーズスクイブ	-	-

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
谷澤幸生 [統] [策]	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
田村好史 [策]	-	-	-	小野薬品工業, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ, ライオン	-	アステラス製薬, カーブスジャパン, 興和, ロッテ	-	-
塚本和久 [策]	-	-	-	興和, サノフィ, バイエル薬品	-	-	-	-
津下一代 [評]	-	-	-	NTT データ研究所, ウィーメックス	-	-	-	-
寺内康夫 [策]	-	-	-	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, 小野薬品工業, 興和, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
戸邊一之 [評]	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬), ノボノルディスクファーマ	-	-	旭化成ファーマ, 医療法人社団桑山会丹保病院, 医療法人社団志貴野会, 医療法人社団七徳会, 医療法人社団平成会桜井病院, 上原記念生命科学財団, 第一三共, 日本イーライリリー	-
中島直樹 [評]	-	カルナヘルスサポート	-	-	-	イーピーエス, 日本医薬品安全性研究ユニット, ファイザー, 富士通 JAPAN	-	-
中村二郎 [評]	-	-	-	小野薬品工業, 第一三共, 大正製薬, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	アボットジャパン, 小野薬品工業, 興和, 三和化学研究所, テルモ
西尾善彦 [策]	-	-	-	アストラゼネカ, 小野薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	-	-	-	-
西澤 均 [協]	-	-	-	-	-	-	-	興和

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
西村理明 [評]	—	—	—	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, アボットジャパン, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 興和, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 日本メドトロニック, ノボノルディスクファーマ	—	三菱電機	アボットジャパン, 小野薬品工業, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム	—
	—	M.E.I	—	—	—	—	—	—
野出孝一 [策]	—	—	—	MSD, アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, 興和, 第一三共, 田辺三菱製薬, ツムラ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品, 持田製薬	—	アステラス製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, バイエル薬品, 富士薬品, 持田製薬	アボットメディカルジャパン, 第一三共, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本ベーリンガーインゲルハイム	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
能登 洋 [統] [評]	—	—	—	日本イーライリリー, 住友ファーマ (大日本住友製薬), ノボノルディスクファーマ	—	マルホ	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
野見山 崇 [評]	—	—	—	MSD, 小野薬品工業, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
羽田勝計 [有]	—	—	—	日本ベーリンガーインゲルハイム	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
馬場園哲也 [評]	—	—	—	—	—	—	日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
濱口真英 [S 担]	—	—	—	—	—	アストラゼネカ, 興和	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
林野泰明 [統] [S サポ]	—	—	—	住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
深水 圭 [リエ]	—	—	—	アストラゼネカ, 大塚製薬, 小野薬品工業, 協和キリン, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノーベルファーマ, バイエル薬品	—	—	住友ファーマ (大日本住友製薬), 鳥居薬品, 日本ベーリンガーインゲルハイム	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
福井道明 [策]	—	—	—	MSD, アストラゼネカ, アボットジャパン, 小野薬品工業, 興和, サノフィアベンティス, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 田辺三菱製薬, ノボノルディスクファーマ	—	おいしい健康, 大正製薬, 太陽化学, たねや, 山田養蜂場	アボットジャパン, クラシエ, 興和, 三和化学研究所, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 帝人ファーマ, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 不二たんぱく質研究振興財団	大正製薬, 太陽化学, 吉野家
	—	—	—	—	—	—	—	—

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
藤本新平 [統] [策]	-	-	-	住友ファーマ (大日本住友製薬)	-	-	-	-
前川 聡 [評]	-	-	-	MSD, アステラス製薬, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
前澤善朗 [協]	-	-	-	-	-	NTT ドコモ	-	-
益崎裕章 [評]	-	-	-	MSD, 小野薬品工業, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品	-	実身美, 玄米酵素	第一三共, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー	-
松田昌文 [評]	-	-	-	日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
松久宗英 [策]	-	-	-	アボットジャパン, オリヅルセラピューティクス, 協和キリン, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), テルモ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-
村田敏規 [リ工]	-	-	-	参天製薬, 千寿, 中外製薬, ノバルティスファーマ, バイエル薬品	-	中外製薬, パレクセル・インターナショナル	-	-
森岡与明 [協]	-	-	-	-	-	-	日本ベーリンガーインゲルハイム	-
矢部大介 [策]	-	-	-	小野薬品工業, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	H2, 大幸薬品, 大正製薬, テルモ, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-	小野薬品工業, ノボノルディスクファーマ
山内敏正 [評]	-	-	-	MSD, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ	-	興和, サノフィ, 日東紡績, ニプロ, ミノファージェン製薬	住友ファーマ (大日本住友製薬), 武田薬品工業, 田辺三菱製薬	朝日生命保険, 小野薬品工業, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ
山田 悟 [S サボ]	-	ロカボ	-	田辺三菱製薬, 日本イーライリリー	-	-	-	-
山田祐一郎 [外部]	-	-	-	小野薬品工業, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 帝人ファーマ, ノボノルディスクファーマ	-	-	-	-

氏名	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6	A-7	A-8
	A-9	B-1	B-2	B-3	C-1	C-2	C-3	
横手幸太郎 [策]	-	-	-	MSD, 小野薬品工業, 興和, サノフィ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノバルティスファーマ, ノボルディスクファーマ, パイエル薬品, ファイザー	-	大正製薬	アポットジャパン, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本ベーリンガーインゲルハイム	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
吉岡成人 [統] [評]	-	-	-	ノボルディスクファーマ	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
脇 嘉代 [協]	日本調剤, SaveMedical, テルモ	-	-	-	-	Raxi, テルモ, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本電信電話, 日本調剤, 三井物産	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
和田 淳 [評]	-	-	-	アストラゼネカ, 協和キリン, 第一三共, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム, パイエル薬品	-	-	大塚製薬, 協和キリン, 塩野義製薬, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 田辺三菱製薬, 中外製薬, パイエル薬品	-
	-	-	-	-	-	-	-	-
綿田裕孝 [統] [評]	-	-	-	MSD, アステラス製薬, アストラゼネカ, アポットジャパン, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィアベンティス, 三和化学研究所, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 第一三共, 大正製薬, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボルディスクファーマ, パイエル薬品, ロッシュ DC ジャパン	-	SBI ファーマ, 興和, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 日本ベーリンガーインゲルハイム, ピオフェルミン製薬	Life Scan Japan, アポットジャパン, 興和, 三和化学, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 大正製薬, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム	MSD, 小野薬品工業, 興和, 三和化学研究所, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 総合医科学研究所, 大正製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 日本ベーリンガーインゲルハイム
	-	-	-	-	-	-	-	-

※下記の委員については申告事項なし。

青野和人 [S 担], 赤沼安夫 [有], 阿部真紀子 [S 担], 荒田尚子 [評], 有馬久富 [S 担], 有村愛子 [協], 粟田卓也 [評], 石井規夫 [協], 市岡 滋 [評], 一色政志 [評], 岩本安彦 [有], 内野卓也 [S 担], 宇都宮一典 [協], 宇野希世子 [S 担], 及川洋一 [協] [S 担], 大久保佳昭 [S 担], 大隈俊明 [協], 大城彩香 [S 担], 大橋 健 [策], 小川洋平 [S 担], 小川 涉 [評] [リ工], 加賀英義 [協], 梶 博史 [評], 梶尾 裕 [評], 梶原伸宏 [S 担], 片桐さやか [評], 加藤丈博 [協], 金崎啓造 [評], 金子ひより [S 担], 壁谷悠介 [S サボ], 北本 匠 [S 担], 楠 正隆 [評], 倉野美穂子 [S 担], 黒田暁生 [評], 剣持 敬 [策], 児玉 暁 [S 担], 後藤 温 [統] [策] [S サボ], 小森田祐二 [S 担], 小山雅之 [S 担], 酒井麻有 [協], 坂上貴章 [S 担], 榊田光倫 [S 担], 佐藤麻子 [策], 佐藤 敦 [S 担], 佐藤元律 [S 担], 澤野聖太郎 [S 担], 幣 憲一郎 [S 担], 篠田 啓 [評], 霜田雅之 [評], 正司真弓 [S 担], 新城尊徳 [協], 杉山 隆 [評], 高本偉碩 [S サボ], 田口昭彦 [統] [策], 田嶋尚子 [有], 田中健一 [協], 田部勝也 [S 担], 辻本哲郎 [S サボ], 津村和夫 [外部], 土井康文 [策], 戸田洋伸 [S 担], 富田益臣 [評], 中川種昭 [リ工], 中田 圭 [S 担], 錦戸利率 [協], 西村英紀 [策], 野田光彦 [統] [評], 林 愛子 [S 担], 榎室伸顕 [S 担], 姫野龍仁 [協], 藤井泰宏 [S 担], 藤倉純二 [策], 藤島裕也 [S 担], 船越生吾 [協], 古橋真人 [リ工], 堀内映里 [S 担], 松井克之 [S 担], 三浦絵美梨 [S 担], 水野美華 [リ工], 南 太一 [協] [S 担], 南塚拓也 [S 担], 宮本聡 [協], 武者育麻 [S 担], 村尾孝児 [評], 望月美恵 [S 担], 森 保道 [評], 盛田幸司 [協], 安白一郎 [リ工], 山口彩乃 [S 担], 山下明子 [S 担], 山田貴穂 [協], 山根俊介 [協], 山本真吾 [外部], 米田真康 [S 担]

日本糖尿病学会：組織としての利益相反項目の開示

日本糖尿病学会の事業活動における資金提供を受けた企業を記載する。
(対象期間は 2021 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日)

1. 日本糖尿病学会の事業活動に関連して、資金（寄付金等）を提供した企業名

①共催セミナー

DEXCOM, Life Scan Japan, MSD, Noster, アークレイマーケティング, 旭化成ファーマ, アステラス製薬, アストラゼネカ, アボットジャパン, エムベクタ (DB ダイアベティーズケア), オーン・クリニカル・ダイアグノスティックス, 大塚製薬, 小野薬品工業, キッセイ薬品工業, 協和キリン, 興和, 寿製薬, サノフィ, 三和化学研究所, 塩野義製薬, 神鋼環境ソリューション, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 積水メディカル, 第一三共, 大正製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 帝人ファーマ, 帝人ヘルスケア, テルモ, 日機装, ニプロ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 日本ベクトン・ディッキンソン, 日本メドトロニック, ノーベルファーマ, ノバルティスファーマ, ノボノルディスクファーマ, バイエル薬品, ファイザー, フクダ電子, 富士薬品, ミカレア, ミナリスメディカル, 明治, メディパルホールディングス, 持田製薬, ロシュ・ダイアグノスティックス, ロシュ DC ジャパン

②賛助会員

Life Scan Japan, MSD, Noster, PHC, アークレイマーケティング, アステラス製薬, アストラゼネカ, アボットジャパン, エスアールエル, エムベクタ (DB ダイアベティーズケア), 小野薬品工業, 科研製薬, キッセイ薬品工業, 協和キリン, 興和, サノフィ, 三和化学研究所, 塩野義製薬, シスメックス, 住友ファーマ (大日本住友製薬), 積水メディカル, 第一三共, 大正製薬, 武田薬品工業, 田辺三菱製薬, 中外製薬, 帝人ファーマ, テルモ, 東ソー, ニプロ, 日本イーライリリー, 日本成人病予防協会, 日本たばこ産業, 日本ベーリンガーインゲルハイム, 日本ベクトン・ディッキンソン, 日本メドトロニック, ノボノルディスクファーマ, ハーバー研究所 (H プラス B ライフサイエンス), 文光堂, 堀場製作所, ロシュ DC ジャパン

③研究助成

MSD, アステラス製薬, アボットジャパン, サノフィ, 帝人ファーマ, 日本イーライリリー, 日本ベーリンガーインゲルハイム, ノボノルディスクファーマ

④顕彰制度

サノフィ, 日本イーライリリー, ノボノルディスクファーマ

2. 本書籍作成に際して、資金提供した企業名

なし

法人名は省略、企業名は 2023 年 12 月時点の名称とし、開示期間内に社名変更があった企業は旧社名を括弧内に記載。(50 音順)